



# 三稜会会報

津島高校同窓会



令和7年7月12日 第74号

発行 三稜会  
(津島高校同窓会)  
事務局(津島高校内)  
〒496-0853  
津島市宮川町3-80  
電話 0567-28-4158  
発行人 北角 浩一



附属中学校校舎



附属中学校体育館

## 愛知県立津島高校附属中学校 開校

三稜会会長 北角 浩一



皆さん、美味しいお米をいただいていますでしょうか。

新型コロナウイルス騒動が終わっても様々なところで大きなことが動いています。最近では小泉米のニュースやロサンゼルスには参議院選挙の結果や影響に話題が集まっていることでしょうか。また、七月五日日本大災害説も航空便の減便など現実経済に影響を与えているのは、多くの方が日々の生活に不安を感じているからなのかもしれません。未来を信じるのが大切な時期なのでしょう。

我等の母校である津島高等学校に、去る二〇二五年四月七日「津島高校付属中学校」が開校しました。二クラス八〇名の中学一年生が入学し、中学校から高等学校への一貫教育が開始になります。日本の将来を担う若い人材が育つことを期待し、明るい未来を感じているのは、私だけではないはず。

中高一貫教育の中で、国際社会において活躍できる人材の育成を目指して、津島高校の教員の皆様はじめ関係各位の綿密な計画によって開校になりました。皆様方のご尽力に敬意を表します。

三稜会では昨年に規約を変更し、現役中学生を準会員としたことよって同窓会からのサポートが可能になりました。既に三稜会の重要な予算として国際交流費を立てており、国際コースを重視する学校と協力し、全体の学力を上げていくことに貢献していきます。

学校の要望を聞きながら、その他の支援も検討していききたいと思います。その際には、三稜会

員の皆様にも、ご理解・ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

また、創立一〇周年を記念に創設された懸賞論文「稲葉真弓賞」について、多くの協賛企業、教員の皆様、また同窓会有志の方々や審査に関わっていたいただいた方々などご協力いただき、十五回を迎えました。これまで、多くの方に参加いただきましたが、十五回を最終回として、本会報とともに最後の別冊をお届けする次第です。

西尾張地区の全ての高校に参加をいただき「文章を書く」という意義を広く広めることができましたのではないかと自負しております。同窓生である稲葉真弓さんが永眠され十年を越えました。心よりご冥福をお祈りするとともに、この地域に「文学」という素晴らしい芸術に接する機会を授けていただいたことに感謝いたします。

同窓会は、稲葉真弓賞から新たに中高一貫教育への支援に重点を置きたいと思えます。それは、歴史を大切にしながら、そして三稜の精神を以って大胆に新たな課題に挑むことでもあります。

改めて、稲葉真弓賞を十五回継続することにご協力いただきました全ての方々にご心より感謝申し上げます。

さて、総会・懇親会を名古屋マリottアソシアホテルで開催する運びとなりました。是非とも同窓生をお誘いいただき参加いただけますようお願いいたします。皆様におかれましては、お互いに顔を合わせ、昔話に花を咲かせていただきたいと思えます。幹事の皆様方に心より御礼申し上げます。

最後になりますが、皆様方の健やかな生活を祈念いたします。

令和七年四月、本校は附属中学校を開校し、愛知県の公立学校では初となる「中高一貫教育校」となりました。また、これに伴って、「国際水準の高度教育プログラムの導入」「高校普通科の一部国際探究科への改編」を実施しています。これまでの伝統を尊重しながらも、既存の枠にとられない「新しい学校づくり」が進んでいます。

さて、この変革の中で特に重視しているのが「先生が教える学校」から「生徒が学ぶ学校」への進化です。中高ともに「ワクワクとドキドキの連続で、生徒が毎日楽しく学び、成長できる学校」となります。そこで、今年度から、いわゆる校則ではなく、スクールコンステイチューションとして「Be Gentle」を掲げることとしました。「だしなみのあるオトナたれ」ということです。学習面だけでなく、学校での生活全般を生徒に委ね、生徒自身の主体的な意思決定を尊重して、「自律」と「自立」に基づく、真に社会で活躍できる人材育成を進めていきます。

その具体をいくつか紹介します。

### ①「探究的な学び」の推進

本校は他校に先駆けて「探究的な学び」に力を入れています。先が見通しにくいといわれる現代社会において、「正解がひとつではない課題」に臆せず取り組むことができる人物、さらには、その課題を解決できる能力を有し、社会全体に貢献できる人物を育てたいと考えているからです。本校の生徒ならではの成長を期待しています。

### ②外部研究機関との連携

①の「探究的な学び」を充実したものにしていくために、大学をはじめ、様々な校外の機関と連携を図っています。今年度は、名古屋大学の情報学部との連携を深めるとともに、同大学

に設置されている博物館を活用した探究活動を始める予定です。

また、昨年度は京都大学、今年度は東京大学からPTA総会における講演講師をお招きしました。生徒・職員だけでなく、保護者の皆さまも巻き込んだ活動を行っています。

なお、これ以外にも国公私立の有力大学とのコラボレーションを進めています。

### ③国際理解教育の充実



## 中高一貫教育のはじまり

お 男  
お 文  
て 手  
川 校長

従来から国際理解教育は本校の得意分野でしたが、今後も、海外姉妹校との交流、海外語学研修などの活動を継続、発展させていきます。今年度は新規事業として愛知大学と連携協定を結び、海外ボランティア活動を実施します。また、新設の国際探究科は来年度の修学旅行で韓国を訪れる予定です。附属中学校では外部プログラムを活用し、週一回ネイティブスピーカーによる英会話学習を実施しています。今後も英語合宿など、探究活動のツールとなる語学教育を進めていきます。

さらに、在名古屋の各国領事館との交流も活発になってきました。昨年度は韓国総領事による生徒向け講演を開催しましたし、今年度もすでにアメリカ主席領事の講演を実施したところであります。

### ④同窓生の皆さまに感謝

このように本校の教育活動は年々充実・発展し続けてきましたが、特にご紹介した②③の事業には、本校卒業生の方が仲立ちしてくださったおかげで開拓できた活動がいくつもあります。同窓生の皆さまからの物心両面のご支援に心から感謝しております。

今後とも本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 令和7年度 総 会 9月14日(日) 開催

## 総会に向けて



今年度幹事学年 佐藤 眞正 代表

皆さま、はじめまして。令和7年度の三稜会にきていただき、幹事学年を務めさせていただきます。48回生代表幹事の佐藤眞正(さととうたかまさ)と申します。

このたび、28回生の皆さまおよび、定時制25回生の皆さまが卒業から50周年という記念すべき節目を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

長きにわたり三稜会を支えてこられた諸先輩方に深く敬意を表するとともに、私たち48回生がその歴史の一端を担わせていただけることに、誇りと責任を感じております。

さて、今年の三稜会は、以下の通り開催を予定しております。本年は、私たちの母校・津島高校にとっても新たな歴史が動き出す年となりました。

令和7年4月、津島高校附属中学校がいよいよ開校し、愛知県内初の公立中高一貫校の第一回生たちが学びをスタートしています。これにより、津島高校は120年を超える歴史に「新たな価値と可能性」を加え、未来へと大きく踏み出しました。

さらに、今年度は日本全体にとっても一つの節目の年です。元号「昭和」が始まってからちょうど100年というタイミングを迎えました。時代が移り変わる中でも、私

たちが青春を過ごした母校の存在は変わらず、今もこうして、同窓生が世代を超えて集える場があることの尊さをあらためて実感いたします。

コロナ禍を経て、社会のあり方、人とのつながりの価値が見直される中、今年の三稜会が「再会」と「再結束」の象徴となるよう、幹事一同、心を込めて準備を進めております。

この場が、母校への感謝を表すとともに、先輩・後輩のつながり、世代を超えた縁を再確認できる時間となるよう願っております。

私たち48回生は、まだまだ力不足ではありますが、この歴史ある会を支える一員としての誇りを持ち、誠実に務めてまいります。どうか温かく見守っていただき、一人でも多くの皆さまにご参加いただけますことを、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、母校・津島高等学校のさらなる発展と、同窓生の皆さまのご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、幹事学年代表のご挨拶とさせていただきます。

皆さまとお会いできますことを、楽しみにしております。

### 令和7年度 三稜会

(愛知県立津島高等学校同窓会)

開催日 令和7年9月14日(日)

会場 名古屋マリオット

アソシアホテル

(名古屋市中村区名駅1丁目1-4)

TEL. 052-584-1111

会費 13,000円

<三稜会総会>

受付 9時30分より

開始 10時30分~11時30分

合同懇親会

受付 11時00分より

開始 12時00分~14時30分

## 令和7年度三稜会(津島高校同窓会)総会・懇親会のご案内

伝統ある母校の同窓会に於いて、今年度も9月に総会・懇親会を予定しております。詳細は会報P2「総会に向けて」をご覧ください。皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください。

### ○総会・懇親会の開催について

役員、各回生の幹事の皆様を通じて総会・懇親会のお声かけがあると存じます。大変お世話になります。ご多用とは存じますが皆様のご来場をお待ち申し上げております。

### ○卒業50周年のお祝いについて

例年、総会・懇親会に於いて母校卒業50年目の節目をお祝いしております。(今回該当されるのは全日制28回生・定時制25回生の方々です。) この度は当日の会場(名古屋マリオットアソシアホテル)にて卒50年の28回生のお祝いも一緒にさせていただきます。是非ご来場ください。

### ○卒業30周年のお祝いについて

例年卒業30周年を迎える回生に総会・懇親会のお世話をさせていただいております。今年お世話いただく幹事学年は全日制48回生の皆様です。現在幹事学年の実行委員会では準備を進めております。また、卒30年をお祝いする企画もございます。是非旧交を温めてください。恩師の先生方にも連絡を取っております。(幹事学年の皆様には別途ご連絡の葉書が届くと思います。よろしく願い申し上げます。)

### ○育英募金へのご協力をお願い

懇親会の会費の納入用紙では、育英募金の振込もできるようになっております。ご承知の通り、本年度から津島高校は附属中学校が開校しました。来年度以降も新たに中学生を迎えるにあたり、教育環境の充実が急務となっております。母校の節目に当たり、多くの皆様にご支援賜れば幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)

令和7年度津島高等学校同窓会実行委員会  
幹事学年48回生 実行委員長 佐藤 貴正  
津島高校同窓会事務局 TEL0567-28-4158(代表)

令和6年度 愛知県立津島高等学校 三稜会総会



高校47回生代表 杉本 静哉

我々47回生は、幹事学年を務めさせていただき、昨年9月8日に「三稜会」の総会および卒業50周年のお祝いの会を約300人の出席者の元、無事開催することができました。ご出席いただきました皆様はじめ、多大なるご支援をいただきました三稜会役員、委員、事務局の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

我々幹事学年も30年ぶりに再会し、協力しながら会を開催することができました。楽しいことばかりでなく、苦しいこと、大変なことも多々ありましたが、この苦勞を乗り

三稜会幹事学年を終えて

越えたからこそ、同級生の絆がより一層深まったのではないかと思います。終わった後の充実感、高揚感など普段味わうことのできない経験や体験ができたことに感謝しております。

高校3年間のみならず、卒業30年の節目に行われた楽しく充実した思い出、これからも永遠と続く同級生との絆や友情を再確認する機会を与えてくれた仲間に感謝しかありません。

最後になりましたが、母校の発展と三稜会の会員皆様のご健勝とご多幸を祈念し御礼のご挨拶させていただきます。



### 幹事学年寄贈品～お知らせとお礼～

昨年度の幹事学年47回生の皆様より、附属中学校開校に伴い、備品等購入費として40万円のご提供がありました。

誠にありがとうございます。

### ホームカミングディのお知らせ

毎年母校津島高校の三稜祭（学校祭）中に催しております。

今年は9月5日（金）9：00～14：00に予定しております。

（万一台風等の事情で中止になる場合は、三稜会のホームページでお知らせ致します。）

昨年の会報発行（令和5年七月）以降、事務局で把握している叙勲受章者は以上の方々（五十音順）です。新たに叙勲された他の方をご存じでしたらお知らせください。

### 同窓生の叙勲報告

おめでとうございます。

瑞宝双光章  
伊藤辰男様（高25回生）

旭日双光章  
伊藤文郎様（高24回生）

旭日小綬章  
大宮吉満様（高19回生）

瑞宝双光章  
内藤正代様（高37回生）

旭日双光章  
服部 猛様（高18回生）

令和7年度 三稜会事業計画(案)

- 校内事務局打ち合わせ 令和7年4月4日(金)
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和7年5月24日(土)
  - 事業報告・事業計画
  - 会計(三稜会一般会計)報告・予算案
  - 会計(三稜育英会)報告・予算案
  - 同監査報告(監査 山岸監事)
  - 役員改選
  - 令和7年度総会と懇親会の日程について(幹事学年48回生)
  - 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について(審査委員会)
  - その他
- 三稜会会報(第74号ならびに別冊)の発刊 令和7年7月予定
- ホームカミングデイ  
津島高校三稜祭(文化祭初日) 令和7年9月5日(金)の予定  
注:土曜日は地元中学生に開放するため、同窓会は金曜日に設定。
- 令和7年度総会・懇親会(幹事学年:高校全日制48回生)
  - 総会 令和7年9月14日(日)  
(会場:名古屋マリオットアソシアホテル)  
受付9時30分より 総会10時30分~11時30分
    - 役員改選
    - 津島高等学校勤続十年表彰
    - 令和6年度事業報告・令和7年度事業計画の報告
    - 令和6年度決算報告・令和7年度予算の報告
  - 懇親会:総会当日午後 12時~14時30分
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和8年2月予定(期日未定)
- 三稜会入会式(全日制第78回生)令和8年2月27日(金)  
卒業証書授与式 2月28日(土)  
(全日制第78回生・定時制第75回生)

令和7年度 三稜育英会事業計画(案)

- 理事会・評議員会 令和7年5月24日(土)午後 於:応接室
  - 事業報告 (2) 事業計画
  - 会計報告 同監査報告 (4) 予算案 (5) 役員改選
- 令和6年度稲葉真弓賞(第15回三稜会懸賞論文)選考会 令和7年5月3日(土)
- 令和6年度稲葉真弓賞(第15回三稜会懸賞論文)表彰式 令和7年5月24日(土)

令和6年度 三稜会事業報告

- 校内事務局打ち合わせ 令和6年4月5日(金)
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和6年5月25日(土)
  - 事業報告・事業計画
  - 会計(三稜会一般会計)報告・予算案
  - 会計(三稜育英会)報告・予算案
  - 同監査報告(監査 山岸監事)
  - 役員改選
  - 令和6年度総会と懇親会の日程について(幹事学年47回生)
  - 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について(審査委員会)
  - その他
- 三稜会会報(第73号ならびに別冊)の発刊 令和6年7月12日発刊
- ホームカミングデイ 三稜祭(文化祭)9月6日(金)
- 令和6年度総会(幹事学年:高校全日制47回生)
  - 総会:令和6年9月8日(日)  
会場:名鉄グランドホテル 受付9時30分~ 開式10時30分
    - 役員改選
    - 津島高等学校勤続十年表彰(金澤教諭)
    - 令和5年度事業報告・令和6年度事業計画の報告
    - 令和5年度決算報告・令和6年度予算の報告
    - 卒50年会員表彰(高27回)
  - 懇親会:総会当日午後 受付11時00分~ 開式12時00分
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和7年2月1日(土)
- 三稜会入会式(全日制第77回生)令和7年2月27日(木)  
10:30~ 於:津島高校三稜館  
卒業証書授与式 2月28日(金)  
(全日制第77回生・定時制第74回生)
- 臨時常任理事会 令和7年3月29日(土)

令和6年度 三稜育英会事業報告

- 理事会・評議員会 令和6年5月25日(土) 於:応接室
  - 事業報告 (2) 事業計画
  - 会計報告 同監査報告 (4) 予算案
- 令和6年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)選考会 令和6年5月4日(土) 於:応接室
- 令和6年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)表彰式 令和6年5月25日(土)幹事会にて
- 令和6年度稲葉真弓賞(第15回三稜会懸賞論文)募集  
10月要項・ポスター配布 題「生きる」  
募集期間 令和6年11月1日~令和7年1月31日

令和6年度 三稜会(一般会計)収支決算書

自令和6年4月1日  
至令和7年3月31日

収入総額	3,240,700 円
支出総額	1,847,570 円
差引残額	1,393,130 円 翌年度への繰越額

収入の部

科 目	予算額	収入済額	増 減	摘 要	令和7年度予算額
入 会 金 収 入	1,875,000	1,840,000	△ 35,000		1,875,000
繰 越 金 よ り	0	0	0		0
そ の 他 の 収 入	100	1,400,700	1,400,600	利息、北角会長から	100
合 計	1,875,100	3,240,700	1,365,600		1,875,100

支出の部

注:来年度卒業予定者数375

科 目	予算額	支出済額	残 額	摘 要	令和7年度予算額
会 報 費	1,300,000	1,376,680	△ 76,680	会報・別冊印刷代	1,300,000
慶 弔 費	50,000	18,880	31,120		50,000
生 徒 記 念 品 費	180,000	238,425	△ 58,425	卒業証書ホルダー	240,000
会 議 費	60,000	21,192	38,808	茶菓代等	60,000
事 務 費	170,000	172,393	△ 2,393	郵送費等	170,000
そ の 他 の 支 出	115,100	20,000	95,100		55,100
合 計	1,875,100	1,847,570	27,530		1,875,100

当年度収支差額	0	1,393,130			0
前年度繰越総額	2,969,009	2,969,009		前年度貸借対照表より	0
繰越金	1,393,130	1,393,130			0
次年度繰越総額	4,362,139	4,362,139			0

備考:各科目間の流用を認める。

(円)

三稜会(一般会計) 貸借対照表

令和7年3月31日現在

科 目	金 額
I. 資産の部	
普通預金 普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	4,362,139
貯 蔵 品 卒業50年記念品「木杯」(1434個)	5,305,800



# 恩師のたより

## 今、思うこと

一組担任

宮田 稔 先生



四十八回生の皆様、そして津島高校で共に学園生活を送った旧職員の皆様、お久しぶりでございます。津島高校には昭和六十一年に赴任以来十五年の長きに渡って置いていただき、何度も卒業生を送り出しました。そして四十八回生が最後に送り出した卒業生でした。従ってここに挨拶を掲載していただくのはこれが最後になります。しかし

津島高校を転出して既に二十九年が過ぎ、せつかくの機会を頂きながら、担任をした皆様のことを始め在任中の思い出は遠い記憶の彼方となつて、思い出せることは殆どありません。そんな私の近況ですが、慎ましい年金生活の身ながら縁あつて三年前には町内会長を引き受け、二年前から地元の神社の氏子総代を務めています。本当は退職したらのんびり余生を過ごしたかったのですが、幸か不幸か時間だけはたっぷりあるので、人生最後のご奉公をと老骨に鞭を打つて地域社会に貢献している次第です。終わりに皆様の前途のご多幸と津島高校の更なる発展を祈念し、これをもって私の最後の近況報告とさせていただきます。

## 雑感

二組担任

山田 一男 先生

津島高校での「何事にも真摯」に取り組んでいた皆さんの姿を懐かしく思います。そんな三十

年前の一月には阪神淡路大震災、三月には地下鉄サリン事件が起こり、それ以降も大変な災害が度々起こっています。この年の卒業式後、愛媛大学への出張帰り、山陽本線の不通区間の六甲道から住吉間を歩いた御影の町の光景は忘れられません。煌々と照らされたJRの復旧現場、住宅は倒れ、ビルの一階は押し潰され、公園では倒れた家の木材で暖をとる人々の姿が思い出されます。私の住む稲沢市は住宅の耐震化率が八割と聞きますが、我が家も含め近所は築六十年以上の家ばかりで世間の流れから取り残された気がしてなりません。

数学では「無限」を扱うことが多く、自分自身慣れ親しんだ思考ですが、「有限」を意識せざるを得なくなり、その第一歩として今年、年賀状じまいをしました。実は「畑じまい」もしたいのですが、これは何ともありません。また春からは草との「戦い」です。さすがに冬場は「畑」の意識は薄れ、津島高校時代に好きになったスキーを続けています。今シーズンは梅池と志賀高原で滑ってきました。と言っても景色を観るのが主な目的になっています。青空の下、純白の雪原は最高です。今回は天気が悪く横手山は諦めました。またチャレンジしたいと思っています。そのために「体力の維持管理」を目標に「畑の管理」をしつかりやろうと「気合」は入っています・・・



## 自然に学ぼう！

三組担任

旭 澄江 先生



四十八回生の皆さんご無沙汰しています。二月二十三日(富士山の日)に、おかげ様で無事七十七歳になりました。(全然実感はわかりませんが・・・)

在職中に野山を歩きすぎたタリで変形性膝関節症になり、一日三十五km歩けなくなりました。メル友の青木茂先生(生物)の助言により、野草の花の写真を撮ることにしました。しかし、冬には枯れて撮ることができな

いのでまた相談すると、「冬は野鳥の観察が楽しい季節」とのことでしたので、野鳥の撮影に変更したのは大正解でした。重たい望遠レンズと格闘しつつも、毎日、日帰りで行ける緑地公園などを遍歴して、一日中野鳥を探し回ったり、同趣味の人と話をするのは、一期一会の楽しみです。しかし、野鳥(野生生物)が年々減少していくことを目の当たりにする度に、「六度目の大絶滅」を実感せざるを得ません。残念です。

具原益軒(江戸時代の本草学者)は、長生きするためには、  
①自然・②読書・③人との交流・④旅の四つを楽しめと言っています。また、「自然から遠ざかると病気が近づく」(ヒポクラテス)とも言われています。皆さん、自然の中に出かけて、自然から大切なことを色々教えてもらいませんか。

四組 原川豪先生  
五組 鈴木久夫先生  
七組 梶井喬先生  
には連絡がとれませんでした。  
申し訳ございません。

## をかのへの

六組担任

伊藤 聡志 先生



周囲より多少高くなっているのは、その昔、天王川の土手だった所に三中の校舎を建てたからでしょう。その際、校庭の周囲に松を植えたようです。遠くからも目印となっている松は、百数十歳。下のグラウンドのヒノキや上のグラウンドのクスノキは、元々あったものを残したのでしょう。校歌にあるあかしやは、春になるといい香りのする白い花を扇状に咲かせますが、ニセアカシア別名ハリエンジュです。マメ科植物のため、マツの肥料

木として混栽されたものかも知れず、いずれも寿命は短く今では虫の息です。下のグラウンドの桜並木も見事ですが、ソメイヨシノの間に桜餅の葉に使われるオオシマザクラが混ざっているのを知っていますか。生物の最初の授業はたいいてい桜の観察でした。梅や桃と違い、花に柄がありぶらさがって咲くこと、ソメイヨシノの花柄には毛があることなど覚えていきますか。当時、校庭の植物を調べたら百種類以上あって、自然の豊かさに感心したものです。また校庭のすみにサツマイモを植え、秋に落葉を集めて焼イモをしました。三十年程前全面禁止。落葉を燃やしてダイオキシンの発生するわけがないにね。とにかく自由な校風でした。それでいて、進路等は皆が自分でやりたい事をみつけ、きっちり実現していったように感じます。津島高校には、一九八四年から十四年間、おまけに再任用で二年間通学し、いろいろな経験をさせてもらいました。

今は、吹奏楽はやっています。今、畑をかりてサツマイモをつくったり、犬をつれて山に登ったりと余生を楽しんでいます。

## 近況報告

八組担任

南谷 広視 先生

四十八回生の皆さん、お久しぶりです。皆さん、お元気でお過ごしですか？私は、有り難いことに、元気に過ごさせていただいております。

皆さんとは、教員生活十一年目から十三年目、三十三歳から三十五歳の時でした。子育て、野球部の指導、担任業務など、時間がいくらあっても足りなくて、でも充実した日々でした。

津島高校三巡目のクラスは、一年から三年まで生徒に恵まれて、楽しい毎日でした。どのクラスも「和気藹々」としていました。

父が喉頭がんを患い、声を失ったため、住職を継承したのは三十五歳。三年八組の担任でしたね。「お寺の仕事があるから十分担任として時間をかけられないから、その自分たちで考えて進んで行ってください」と最初に言いましたね。皆さんは、とても素敵でしたし、立派でした。

私が担任した、たくさんのクラスの中でも、五本の指に入るクラスでした。

今私は、寺の住職として、大きく変化している社会に抗いながら、良きものを無くさないよう、仲間とともに、毎日わくわくしながら日々を送っています。写真は、お説教をしているものです。

四十八回生の皆さん、津島高校で学んだことを、存分に発揮されんことを、羽島より念じております。



## ▼令和7年 大学合格者状況

	大学名	R7	大学名	R7	大学名	R7
国立	新潟大	1	立教大	3	名学院大	65(1)
	富山大	3(1)	駒澤大	1(1)	名外語大	7
	福井大	1	東京理科大	1	名商大	1
	岐阜大	5	中央大	1(1)	名古屋葵大	16
	愛知教育大	6	東海大	4	名学芸大	13
	名古屋工業大	2	東洋大	1	名芸大	2
	三重県立大	15	岐阜聖徳学園大	11	名造形大	1
	滋賀大	2	岐阜女子大	1	南山大	52(3)
	京都大	1(1)	岐阜医療科大	6	日福大	11
	広島大	1	朝日大	1	人間環境大	5
	山口大	1(1)	愛知大	120	日赤豊田大	5
	高知大	1	愛知医科大	2	一宮研伸大	11
	九州工業大	1	愛知工業大	50(1)	藤田医科大	13
	岩手県立大	1	愛知淑徳大	153	名城大	148(11)
	都留文科大	1	愛知学院大	68	皇學館大	5
	長野大	1	愛知工科大	1	鈴鹿医療大	11
	三条市立大	1(1)	愛知東邦大	3	四日市看護	7
	富山県立大	3	桜花学園大	1	京都外語大	5
	石川県立大	2	金城学院大	28	同志社大	6(1)
	福井県立大	1	修文大	4	立命館大	29(1)
	愛知県立大	2	椋山学園大	68	龍谷大	6(1)
	名古屋市大	2	大同大	50	関西大	8
	三重県立大	3	中京大	91(3)	関西学院大	2
	福知山大	1	中部大	106(3)	近畿大	12(1)
	大阪公立大	3	東海学園大	36	関西外語大	1
	神戸市外国語大	1	豊田工業大	1	その他	5
	鳥取環境大	3				
	小野田市立大	1				
	高知工科大	1(1)				
	名桜大	1				
	国立公立大計	68(5)		私立大計	1259(28)	

## ▼最近4年間卒業生動向

		令和7年	令和6年	令和5年	令和4年
卒業生数	女	351	164	351	173
	男	187	187	178	179
大学進学	女	317	149	317	154
	男	168	168	163	166
短大進学	女	0	0	2	5
	男	0	0	0	0
専・種学校	女	13	9	14	12
	男	4	2	1	8
文科省所管外大学	女	0	0	0	0
	男	0	0	0	0
浪人	女	20	5	18	6
	男	15	13	11	7
就職	女	1	1	0	0
	男	0	0	0	1
その他	女	0	0	0	0
	男	0	0	0	0

### ホームページのご案内

三稜会では、創立110周年記念事業の一環として、諸先輩のご尽力をいただきながら、ホームページを立ち上げました。多くの卒業生の方々のおかげで、様々な情報を発信することができるようになりました。

ますます情報化が進み、浸透していく今日、当会においても情報の発信をより広く、スピーディーに行うために、ホームページを積極的に利用活用したいと考え

ております。その一環として、まずはリニューアルを行いました。

今後、皆様からのアイデアをいただきながら、新しい時代にマッチした変化を目指していきたいと考えております。

何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<http://www.sanryokai.com>

卒業生の活動、活躍などをこちらからお知らせください。またご意見などいただければ幸いです。

[info@sanryokai.com](mailto:info@sanryokai.com)

ホームページ担当 北角浩一（32回生）



三稜会HP



活動報告・意見

## 部活動の記録



女子ハンドボール部

### 女子ハンドボール部

第79回愛知県高等学校総合体育大会ハンドボール競技尾張支部予選会で2年ぶりの優勝を成し遂げました。



ラグビー部

### ラグビー部

令和6年度愛知県高等学校新人体育大会ラグビーフットボール愛知大会尾張予選（令和6年度新人戦）で優勝、第79回愛知県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技尾張予選（第79回総体尾張予選）で優勝と二連覇することができました。県大会一回戦では7-24で瀬戸西高校に惜敗しました。